

陳 情 文 書 表

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第50号（6.2.8） ガザ地区の人命保護及び平和実現に関する市会決議を求める陳情
陳情の要旨	1. ガザ地区に平和を求める世界各国の都市や議会、日本の地方議会と共に、神戸市会においても「ガザ地区における人命保護と平和実現を求める決議」を決議すること。
陳情者の住所及び氏名	神戸市垂水区 須本 エドワード 豊
送付委員会	総務財政委員会

## 陳情書

2024年2月8日

神戸市会 議長 坊 やすなが 様

(陳情者)

住所 神戸市垂水区

氏名 須本 エドワード 豊

「ガザ地区の人命保護および平和実現を求める」市会決議を求める陳情

(陳情の趣旨)

昨年10月7日のハマスによる大規模攻撃および人質事件に対するイスラエル国による報復処置は、一般市民という定義を無とし国際法のあらゆる基準を無視した形で現在も継続しています。近年のイラクやシリアでの戦乱の40倍近いペースで既に27,000人を超える人命が奪われ、このうち無差別攻撃による子どもの死者数は既に1万人を超えています。

今年1月26日に国際司法裁判所(ICJ)は現在ジェノサイドが進行している可能性を認識し、これに対しパレスチナ人に対してジェノサイド条約によって保護されるべき権利が十分であると指摘しました。しかしながら、その後も1000人以上が犠牲となっており、難民の更なる迫害が発生しています。そして、2月最初の週末に期待された停戦も合意されず、引き続き多くの一般市民が過酷な環境のなかで飢餓と暴力に苦しんでいます。

双方の自衛権の尊重や人質の早期解決や長期的な政治的な解決はもちろんですが、今すぐ一般市民の犠牲を喰いとめるべく、停戦の呼びかけ、負傷者や難民を救済することは人類の道徳的義務として必然であると思います。

国内では地方議会が中心となり既に昨年末時点で200を超える地方議会が停戦を求める決議・意見書を採択しており、神戸市の姉妹都市であるシアトル市も昨年11月、リオデジャネイロ市も国の正式な見解発表前に市議会での議論を進め、バルセロナは昨年11月にイスラエルとの親交断絶を決議採択しました。

神戸市は過去に大水害や大空襲、阪神・淡路大震災を経験しながらも、多様な文化背景の垣根を超えた市民が手を取り合い、対立を乗り越え文化豊かな平和な都市を築いてきました。異なる背景のユダヤ人が共に祈るシナゴグ、すぐ近くに日本最古のモスクやシーク、ジャイナ、ロシア正教、カトリック、神道、仏教など様々な人々が共に暮らしています。共に生き、新たな文化や価値観を創造するための安心・安全を守って来た神戸市であるからこそ、平和と人命保護を呼びかけることに意義があると信じております。

(陳情事項)

「ガザ地区に平和を求める」世界各国の都市や議会、日本の地方議会と共に貴議会においても「ガザ地区における人命保護と平和実現を求める決議」を決議してください。